

10月の園だより

柔らかな秋の日差しが降り注ぎ、少しずつ季節の変化を感じられるようになってきました。

沖縄もようやく新型コロナウイルスが減少してきて、分園の子どもたちの笑い声や話し声が響いてきました。しかし、まだまだコロナウイルスには警戒が必要なので、一人ひとりの手洗い、消毒、室内の換気、マスク着用、さらに子どもたちの健康管理には引き続き気をつけたいと思います。そのためにも早寝早起き、朝ごはんをしっかり取り組んでいきましょう。



今月のねらい

- ・秋の自然に触れながら、戸外で体を動かして楽しむ。
- ・運動後は水分補給や休息を十分に取り、元気に過ごす。



たんぽぽ組

たかえす きこさん
たかえす さやさん
たいら ゆづるさん
たかやま ひなきさん

ちゅうりっぷ組

しもじ ずはさん

ゆり組

きんじょう てんまさん
ひまわり組
とうやま ひろむさん
いけい めいさん

秋

秋には、食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋という言葉があります。

「文字・活字、文化の日」といいます。

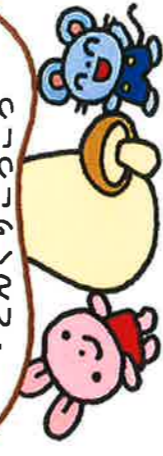
園にはたくさんさんの絵本があり、毎日読み聞かせをしています。今年は、コロナウイルスの影響で図書館にも出かけるのも難しくなりました。

我が家の本棚にも、きつと読みたい本が多数あると思います。お子さんと一緒に（絵本・図鑑）を囲み秋のゆっくりとしたひと時を楽しんで下さいね。



今月のうた

- ・がんばりまんのうた
- ・秋の空
- ・まつぼっくり
- ・どんぐりころころ



18日(月)お誕生会
21日(木)お弁当会

※避難訓練は某日行います。

※新型コロナウイルス感染症予防対策として
延期・中止があります。



おねがい

- ・登園、降園の際、駐車場とすき家の間の低いブロック塀上を歩いているお友だち、そして高いブロック塀をよじ登ると言った姿が見られました。
- ・園では戸外に出かける際はお友だちとしっかり手を繋ぎ歩道を歩く事を約束しています。家庭でも安全面の約束をお話して下さいね。

研修報告 1

9月25日(土)本園の照彦先生のクイズ方法で「身近な危険生物を学ぼう」の園内研修を行いました。漫湖公園で目にする危険な生き物や植物があるので紹介したいと思います。



○公園や街路樹でよく見る「ミフクラギ」
別名：オキナワキョウチクトウは、乳液は猛毒であるため、触らないようにしましょう。



○「アフリカマイマイ」に触ると、髄膜炎脳炎を

引き起こし、場合によっては死に至る。

触った場合は、必ず手を洗うこと。

散歩先で見つけた生き物と植物に子どもたちは、好奇心旺盛で、すぐに手に取ってみたいと行動に走ります。そこで、今回の研修を受けたことで、子どもの好奇心に寄り添いながらも、凶鑑で確認をしながら知識を深めて正しく知ることを楽しみ自然あそびにつなげたいと思いました。

研修報告 2 「児童福祉施設等 給食担当職員研修」講師：野原正子氏

食育・食物アレルギーへの対応について、園に安心して通えるためには、必要とされる「生活管理指導表」は切っても切り離せない書類で提出をお願いしています。園で始めて食べる食材を避け、家庭で何度か食べた後に園で食すること。しかし“家庭で食べたから大丈夫である”ことは、常に大丈夫であることを保証するものではないことを念頭におき、子ども日々の体調・様子を確認し給食を提供する必要がある。園の方では、献立内容・調理工程を常に見直し、可能なこと・不可能なことを整理整頓し、時には発想転換もしながら「安心安全な食」を最優先を念頭に、楽しく・おいしく食べる給食をみんなど考えていければと思います。そのため、専用トレイや食器を使うこと。その他にも、保育士は役割を確認し間違いが無いように二重チェックして配膳するように工夫をしていくことを今後も努めなければならないと思います。

・登園、降園の際、車のエンジンを稼働させたまま駐車している車がありました。事故につながりかねません。エンジンはしっかりOFFにして下さい。